

# 令和3・4・5年度 鶴ヶ島市立藤小学校 学校課題研究全体構想図

## 学校教育目標

- ・進んで学ぶ子 ・思いやりのある子 ・最後までがんばる子
- 〈みんなが輝く合言葉〉 あいさつ・元気・学び合い

## めざす児童像

笑顔が通い、互いに認め合い、共に高め合う子ども

- 自主学習に進んで取り組み、多くの知識、技能を身につけようとする。
- 認め合い、友達の気持ちを想像し、思いやりを持って、優しくする。
- 命を大切にし、けがや、事故につながる危険な行動をしない。

## 研究主題

全ての子どもたちの可能性を引き出す、個別最適な学び(※1)と、協同的な学び(※2)の実現  
～1人1台タブレットの活用を通して、3年間で段階的に(スモールステップ)～

## 研究仮説

### 習得段階(1年次)

○ICT 機器(主に1人1台タブレット)を、意図的・計画的にかつ、日常的に教師も児童も使用すれば、学習の中で有効に使いこなすことができるようになるだろう。

### 活用段階(2年次)

○個別の学び(個別最適な学び)や学び合い(協同的な学び)の中で、ICT 機器(主に1人1台タブレット)を、ツールの一つとして使いこなすことで、「主体的に学習に取り組む態度」の育成につながるであろう。

### 探究段階(3年次)

○様々な学びの中で、ICT 機器(主に1人1台タブレット)をツールの一つとして使いこなし、主体性を発揮することで、「主体的・対話的で深い学び」が実現し、探究的な学習ができるようになるだろう。

☆キーワードは

「タブレットは文房具」

「タブレットはつながる道具」

「タブレットは研究道具」

## 研究方策

### 【習得段階(1年次)】

- ルーティーンワーク
  - ・毎日1回…ログインする。
  - ・毎週2回…ドリルパークを使用する。
  - ・毎週1回…ミライシードのオクリンクかムーブノートを授業で使用する。
  - ・毎月1回…Google フォームを使って小テストを実施。
  - ・毎学期1回…ミライシードか Google のソフトを使って、協同的な学習を実施。
  - ・年間1回…研究授業の実施。(自身でテーマを決める)

### 【活用段階(2年次)】

- ルーティーンワーク
  - ・毎日1回…ログインする。
  - ・毎週1回…ジャムボード・オクリンク・ムーブノート等で学び合う。
  - ・毎月1回…Google フォームを使って小テストを実施。
  - ・毎学期1回…ミライシードか Google のソフトを使って、協同的な学習を実施。
  - ・年間1回…研究授業の実施。(自身でテーマを決める)
- 情報モラル
  - ・外部指導者との連携
  - ・ルールの確立(生徒指導と連携)

### 【探究段階(3年次)】

- ルーティーンワーク
  - ・毎日必要に応じて…ログイン
  - ・授業に応じて…ジャムボード・オクリンク・ムーブノート等で学び合う。
  - ・活用場面にに応じて…必要なソフトやアプリ等のコンテンツを自ら活用。
  - ・毎学期1回…ミライシードか Google のソフトを使って、協同的な学習を実施。
  - ・年間1回…研究授業(自身でテーマを決める)
- 個人研究…自身の1年間のテーマを決めて、個人研究を行う。(研究授業とレポート)
- デジタルシティズンシップ(情報モラルから次の段階へ)